

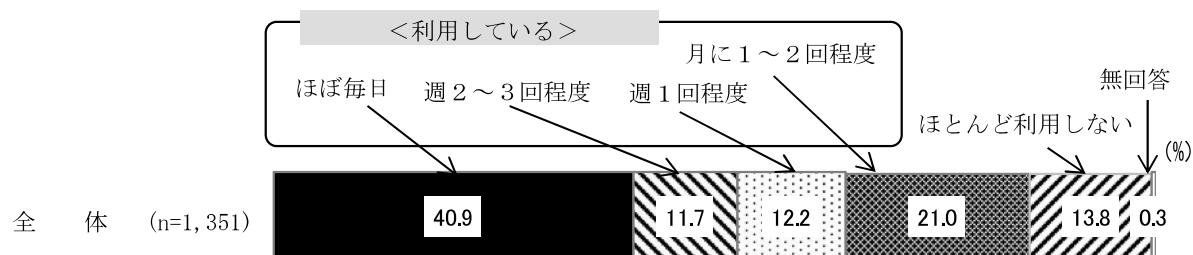
6 川崎市の都市交通について

6-1 鉄道の利用頻度

◎「ほぼ毎日」が40.9%

問16 あなたは普段、どの程度鉄道を利用していますか。(○は1つ)

図表6-1 鉄道の利用頻度

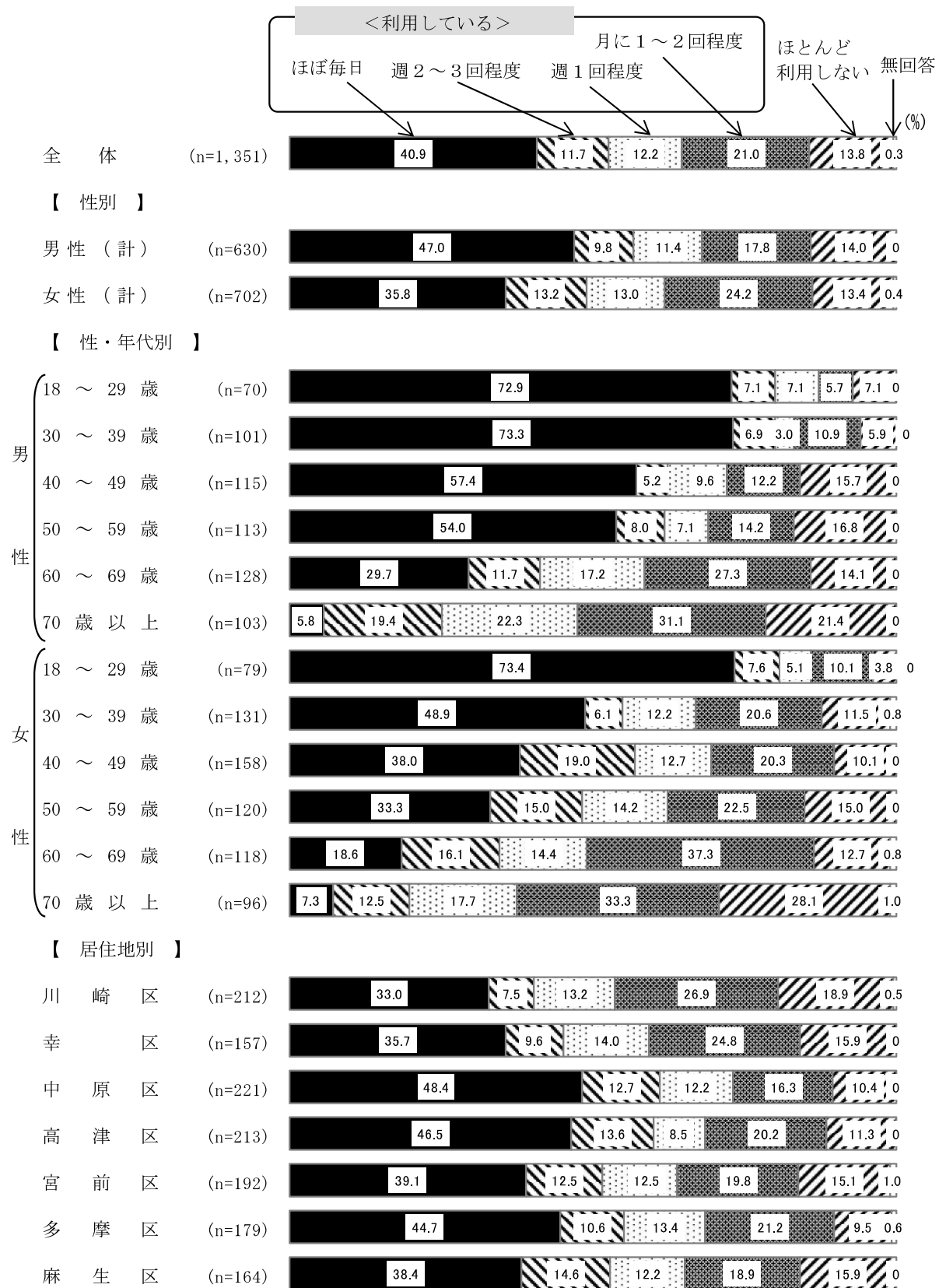


鉄道の利用頻度は、「ほぼ毎日」が40.9%と最も多く、次いで「月に1～2回程度」が21.0%、「週1回程度」が12.2%、「週2～3回程度」が11.7%となっている。

なお、これらをあわせた<利用している>は85.8%となっている。一方、「ほとんど利用しない」は13.8%となっている。

(第2回アンケート)

図表 6-2 鉄道の利用頻度 (性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用している」は、男性の30～39歳（94.1%）、女性の18～29歳（96.2%）で高い。

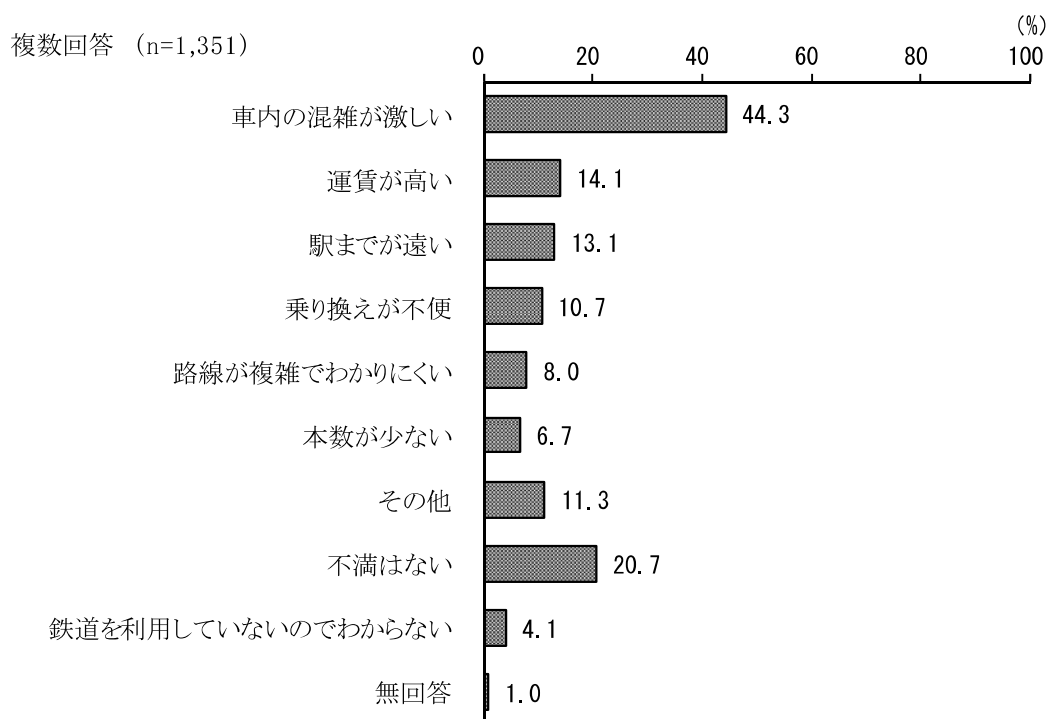
居住区別では、「利用している」は、多摩区（89.9%）で高い。

6-2 鉄道利用の不満点

◎「車内の混雑が激しい」が44.3%

問17 鉄道利用において、あなたが不満と感じている点は次のうちどれですか。(○は2つまで)

図表6-3 鉄道利用の不満点



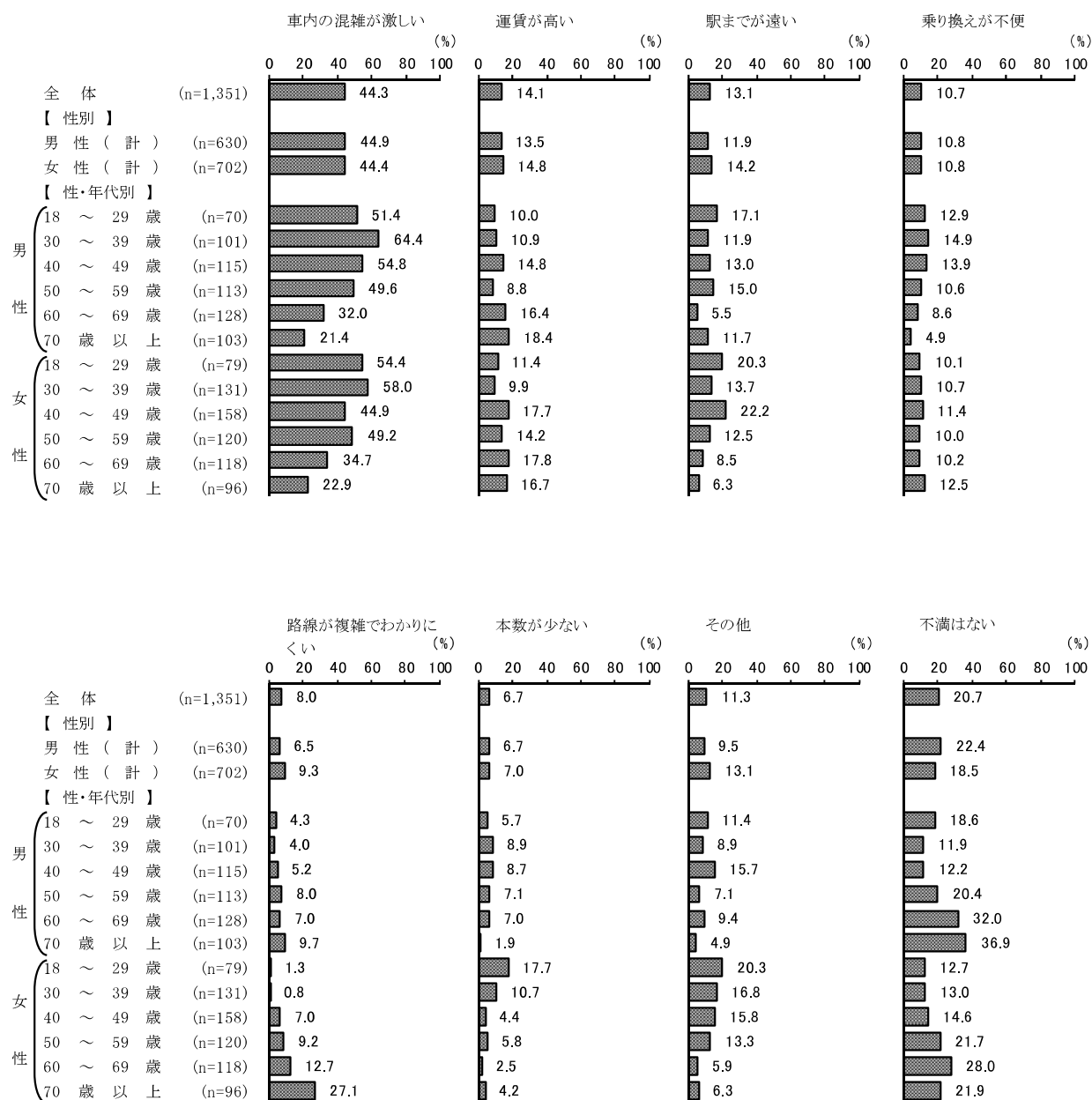
鉄道利用において不満と感じている点は、「車内の混雑が激しい」(44.3%)が4割台と最も多くなっている。次いで、「運賃が高い」(14.1%)、「駅までが遠い」(13.1%)、「乗り換えが不便」(10.7%)の順となっている。

一方で、「不満はない」の回答も20.7%と約2割見られた。

(第2回アンケート)

図表6-4 鉄道利用の不満点(性/年齢別)

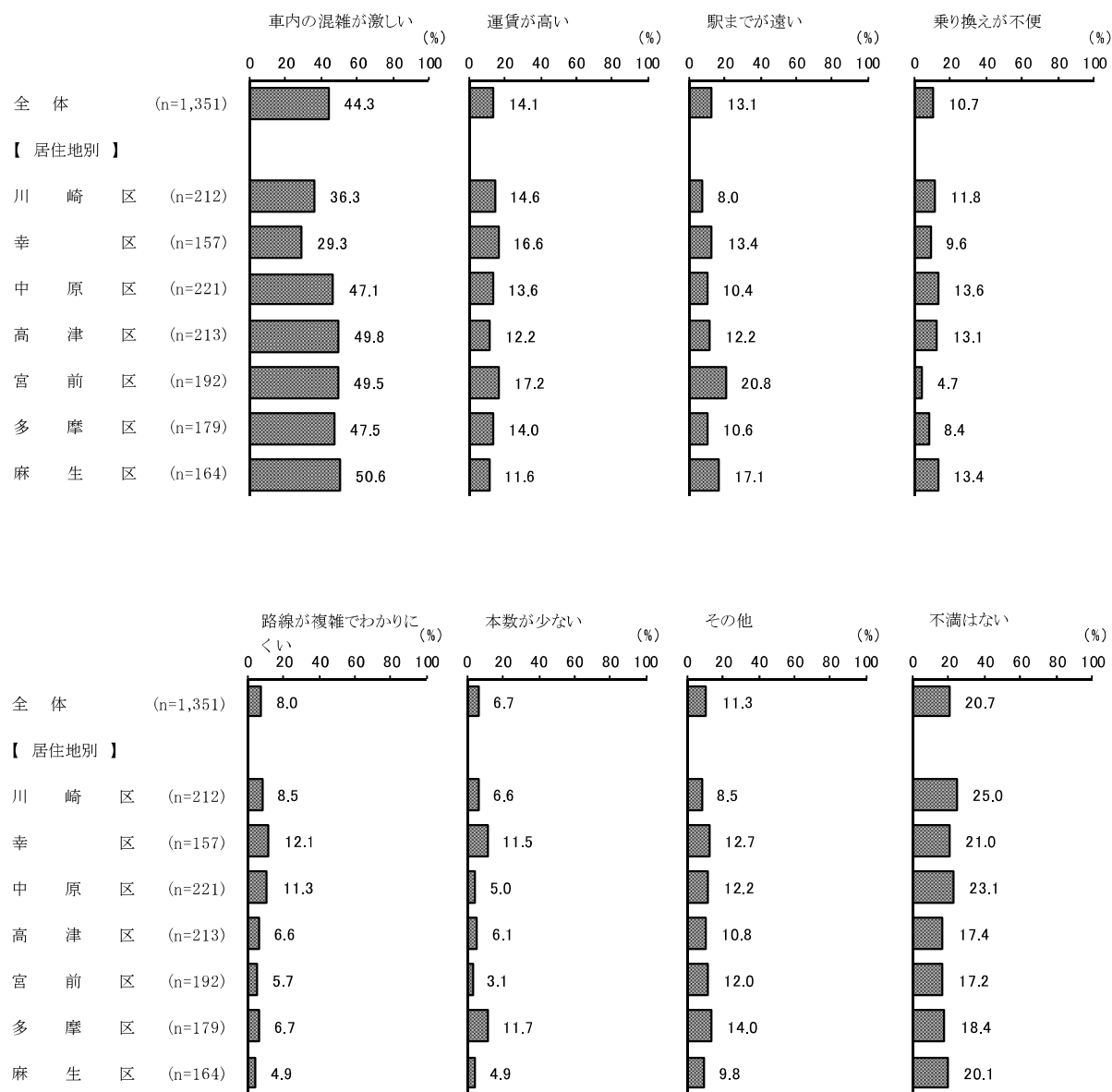
*「利用していないのでわからない」を除く8項目



性/年齢別では、「車内の混雑が激しい」は、男性の30～39歳（64.4%）、40～49歳（54.8%）で高く、女性の30～39歳（58.0%）で高い。

図表6-5 鉄道利用の不満点（居住区別）

* 「利用していないのでわからない」を除く8項目



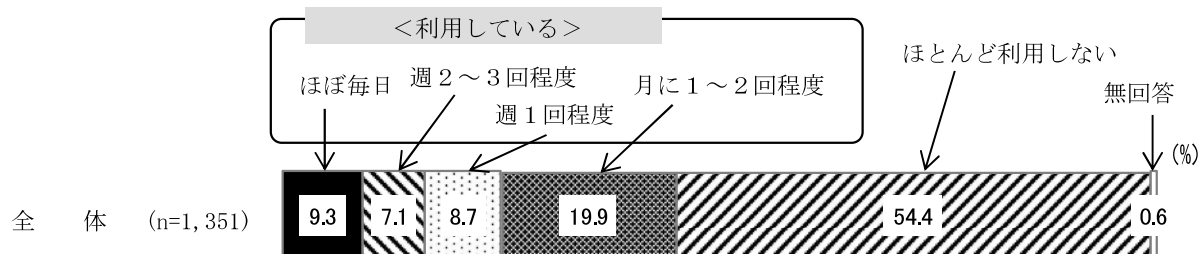
居住区別では、「車内の混雑が激しい」は、川崎区、幸区以外の5区で高い。

6-3 バスの利用頻度

◎＜利用している＞が45.0%

問18 あなたは普段、どの程度バスを利用していますか。(○は1つ)

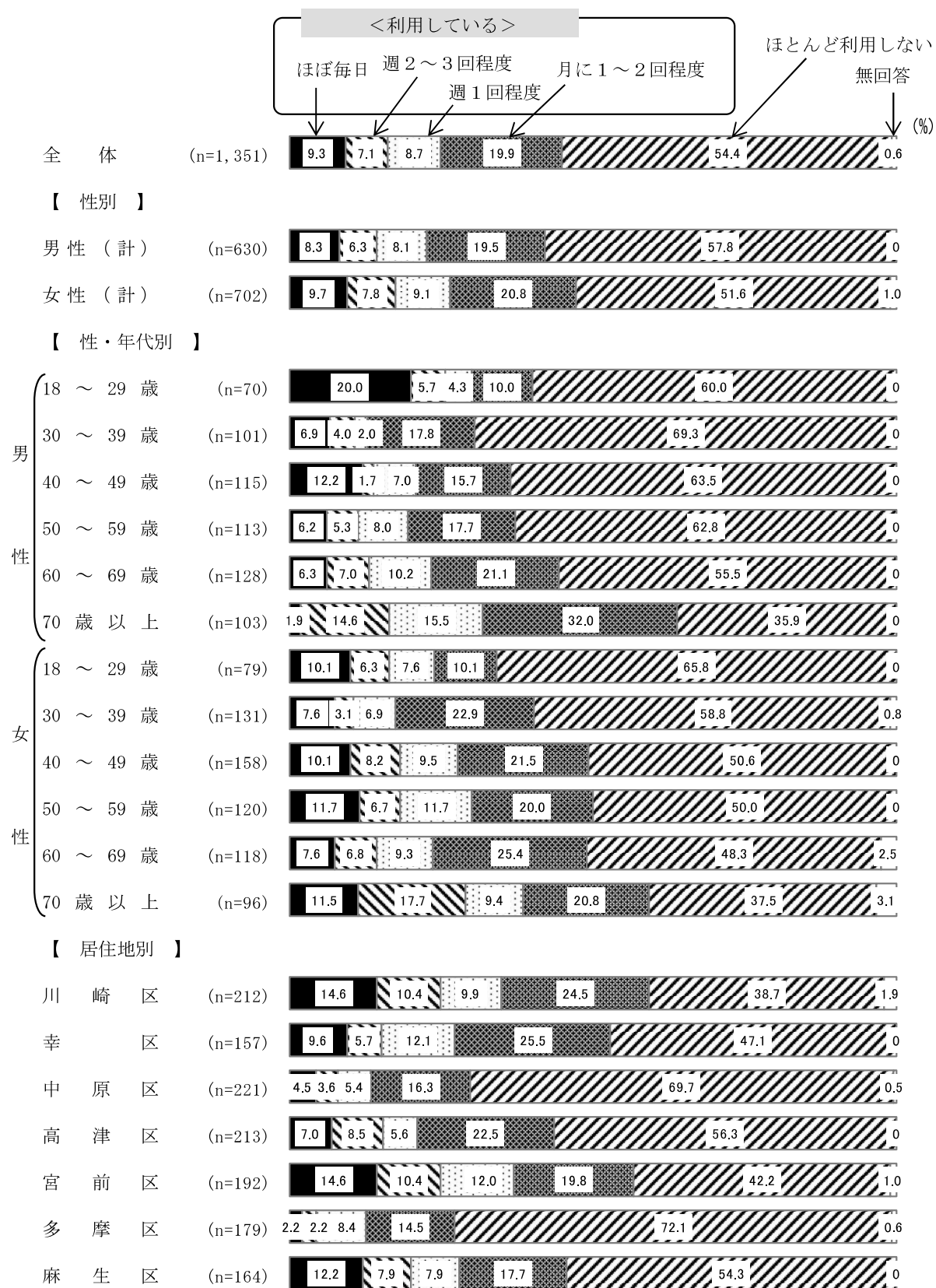
図表6-6 バスの利用頻度



バスの利用頻度は、「月に1～2回程度」が19.9%、「ほぼ毎日」が9.3%、「週1回程度」が8.7%、「週2～3回程度」が7.1%となっている。

なお、これらを合わせた＜利用している＞は45.0%となっている。一方、「ほとんど利用しない」は54.4%となっている。

図表6-7 バスの利用頻度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「利用している」は、男女共に70歳以上で高い。（男性：64.1%、女性：59.4%）

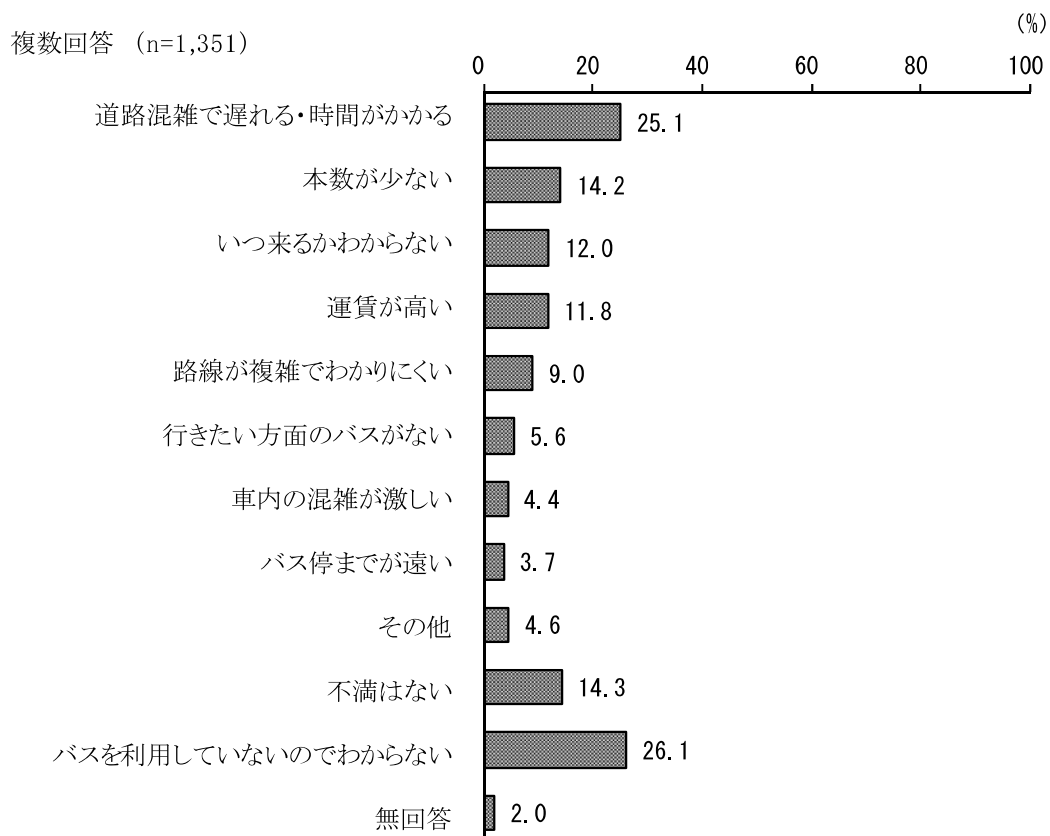
居住区別では、「利用している」は、川崎区（59.4%）、宮前区（56.8%）で高い。

6-4 バス利用の不満点

◎「道路混雑で遅れる・時間がかかる」が25.1%

問19 バス利用において、あなたが不満と感じている点は次のうちどれですか。(○は2つまで)

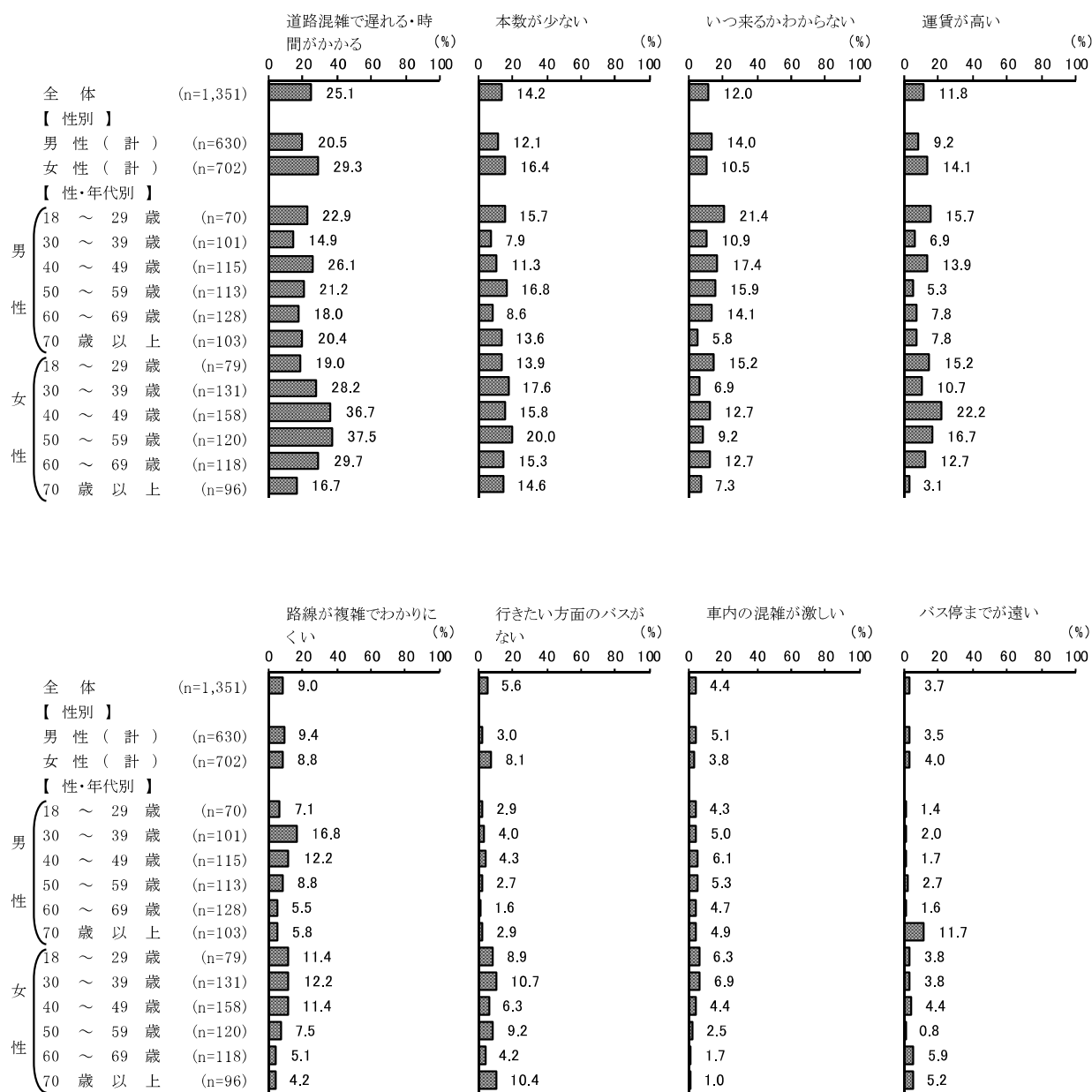
図表6-8 バス利用の不満点



バス利用において不満と感じている点は、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」が25.1%と最も高くなっている。次いで、「本数が少ない」(14.2%)、「いつ来るかわからない」(12.0%)、「運賃が高い」(11.8%)の順となっている。

図表6-9 バス利用の不満点(性/年齢別)

*「その他」「不満はない」「利用していないのでわからない」を除く8項目

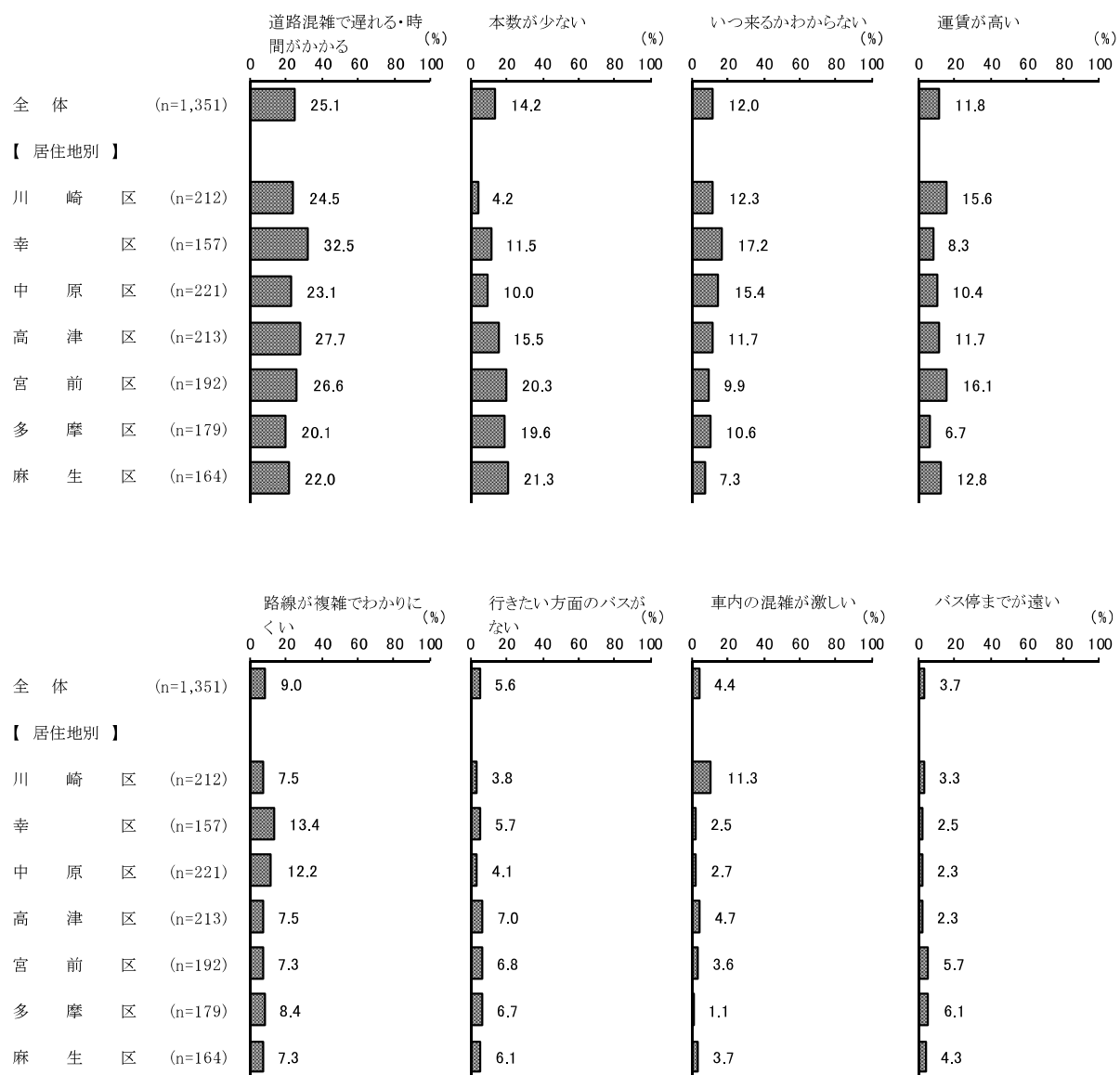


性/年齢別では、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」は、女性の40～49歳(36.7%)、50～59歳(37.5%)で高い。

(第2回アンケート)

図表6-10 バス利用の不満点(居住区別)

*「その他」「不満はない」「利用していないのでわからない」を除く8項目



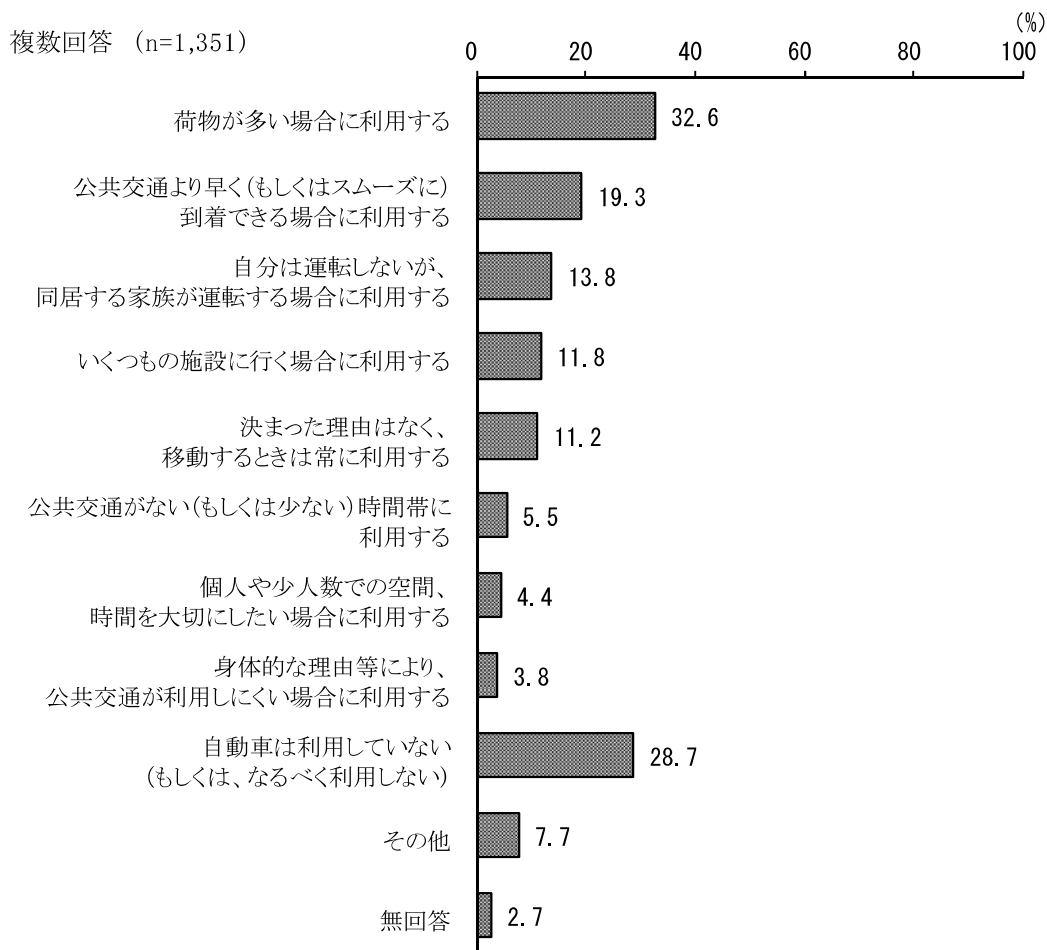
居住区別では、「道路混雑で遅れる・時間がかかる」は、幸区(32.5%)で高い。

6-5 どのような場合に自動車を利用するか

◎「荷物が多い場合に利用する」が32.6%

問20 あなたはどのような場合に（理由で）、自動車を利用していますか。（○は2つまで）

図表6-11 どのような場合に自動車を利用するか



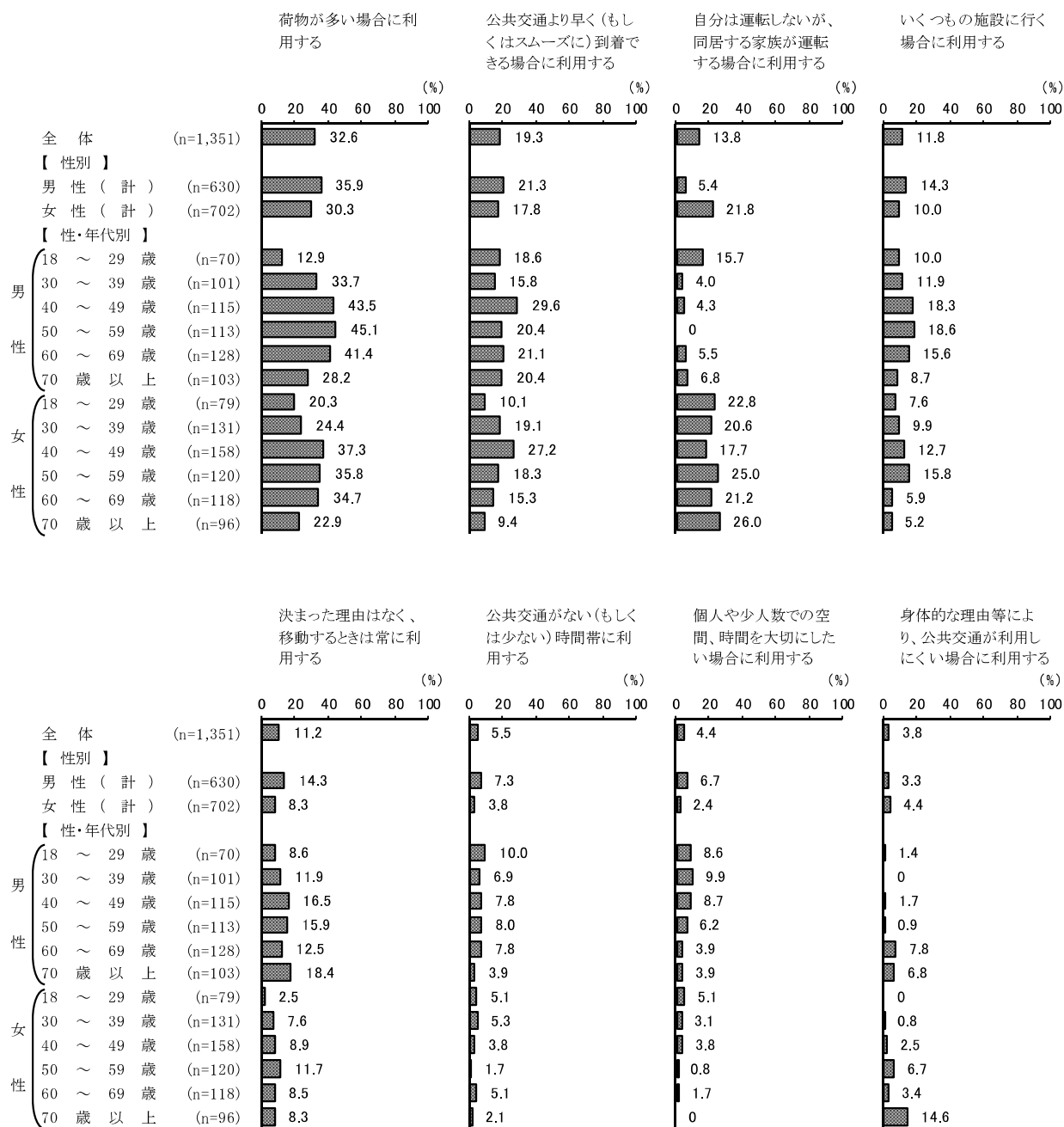
どのような場合に自動車を利用するかについては、「荷物が多い場合に利用する」が32.6%と最も高くなっている。次いで、「公共交通より早く(もしくはスムーズに)到着できる場合に利用する」(19.3%)、「自分は運転しないが、同居する家族が運転する場合に利用する」(13.8%)の順となっている。

一方、「自動車は利用していない(もしくは、なるべく利用しない)」(28.7%)は3割弱見られた。

(第2回アンケート)

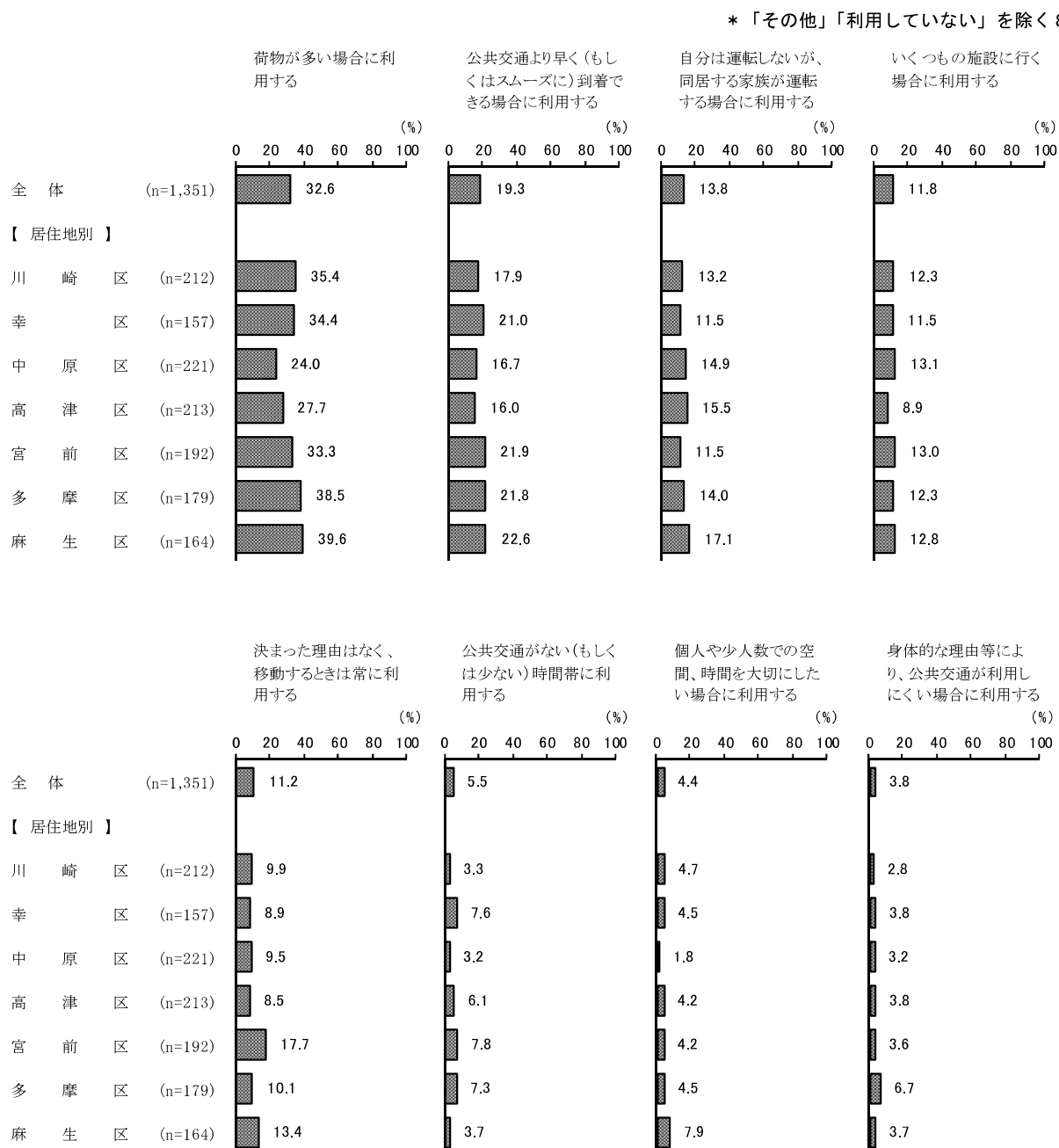
図表6-12 どのような場合に自動車を利用するか(性/年齢別)

* 「その他」「利用していない」を除く8項目



性/年齢別では、「荷物が多い場合に利用する」は、男性の40～49歳(43.5%)、50～59歳(45.1%)、60～69歳(41.4%)で高い。

図表6-13 どのような場合に自動車を利用するか(居住区別)



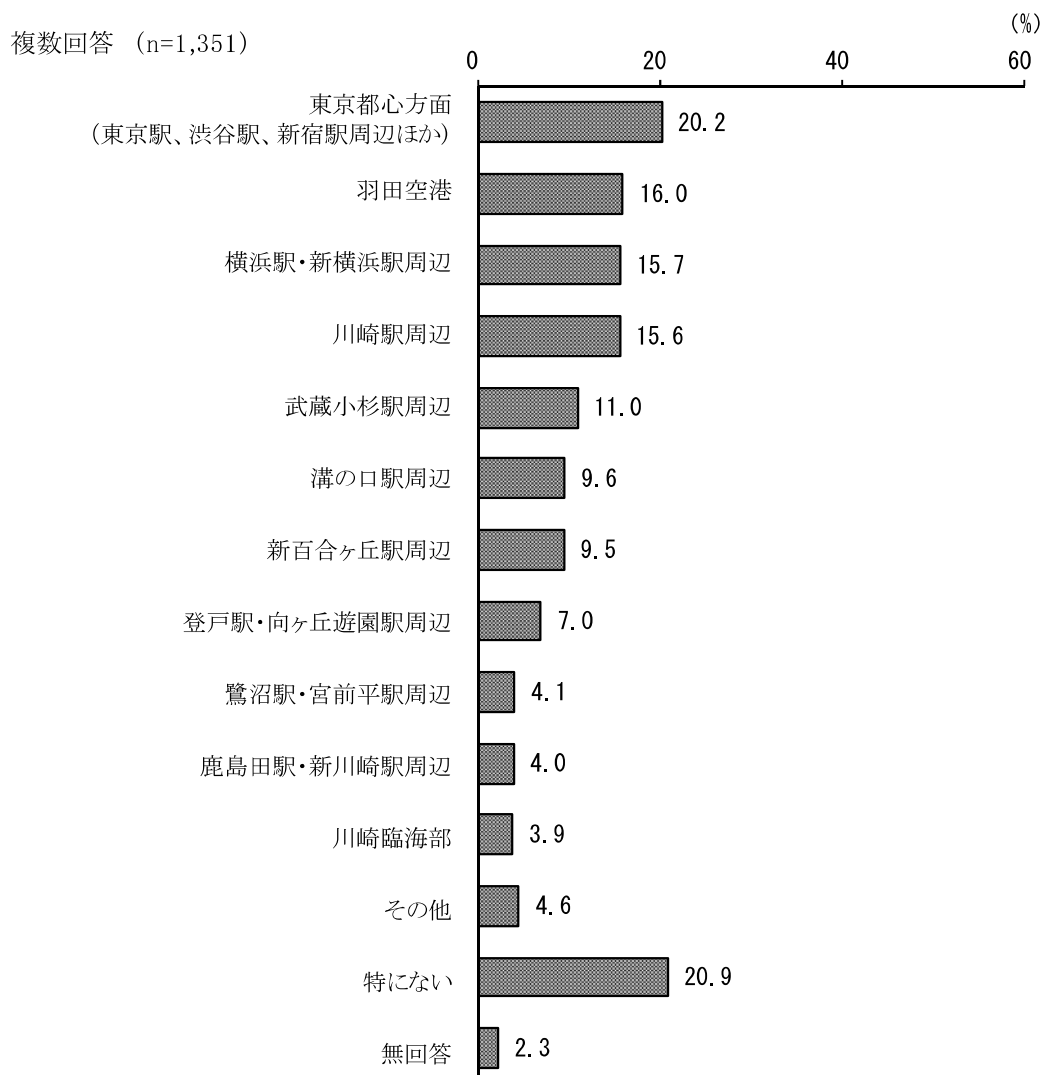
居住区別では、「荷物が多い場合に利用する」は、多摩区(38.5%)、麻生区(39.6%)で高い。

6-6 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所

◎「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」が20.2%

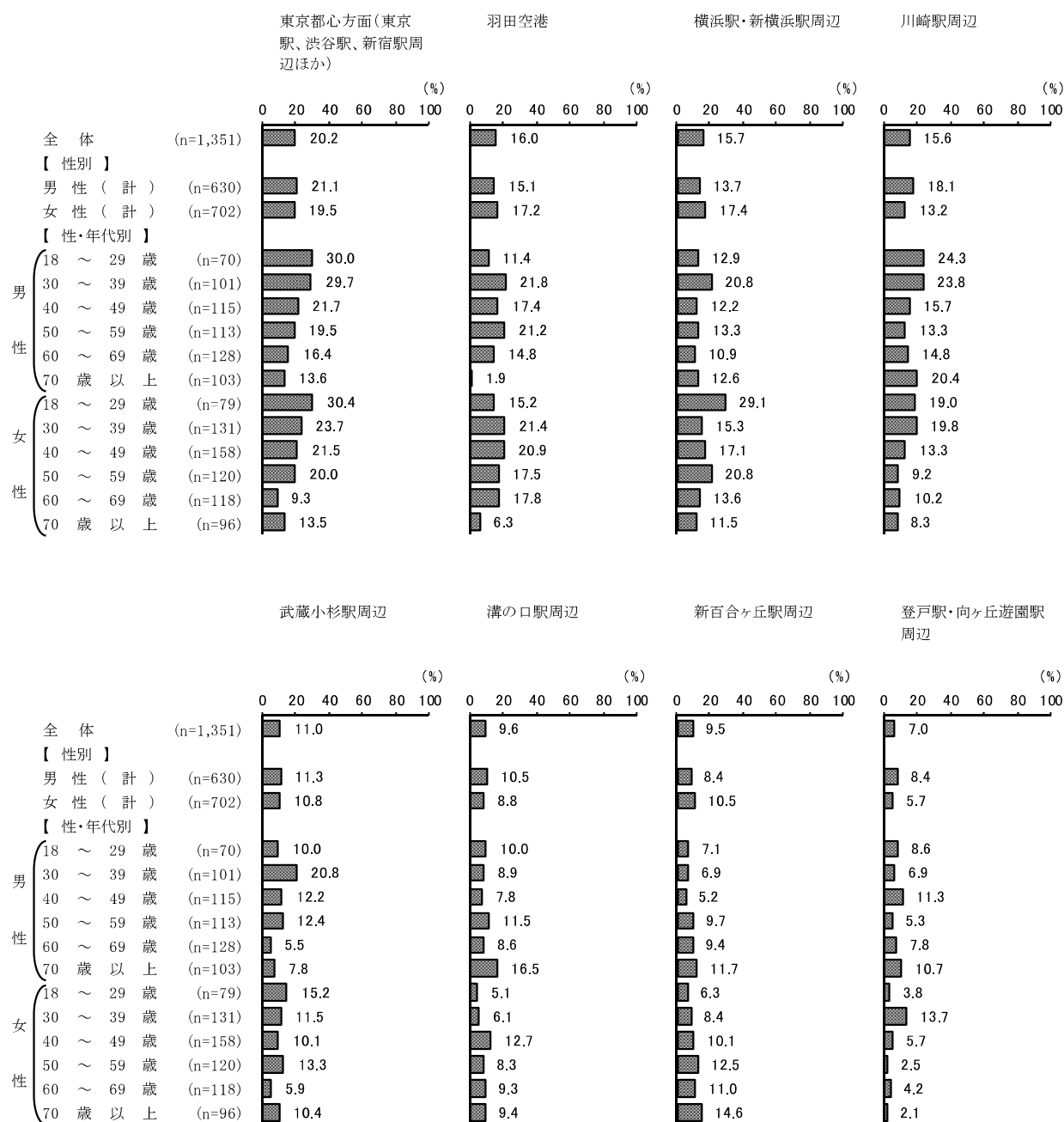
問2-1 自宅から目的地への交通利便性を考えた時、今よりもアクセスが向上する（行きやすくなる）と思う場所はどこですか。※鉄道・バス・自動車など、あなたが普段利用する交通手段でお考えください。（○は2つまで）

図表6-14 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所



今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所は、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」が20.2%と最も多くなっている。次いで、「羽田空港」(16.0%)、「横浜駅・新横浜駅周辺」(15.7%)、「川崎駅周辺」(15.6%)の順となっている。

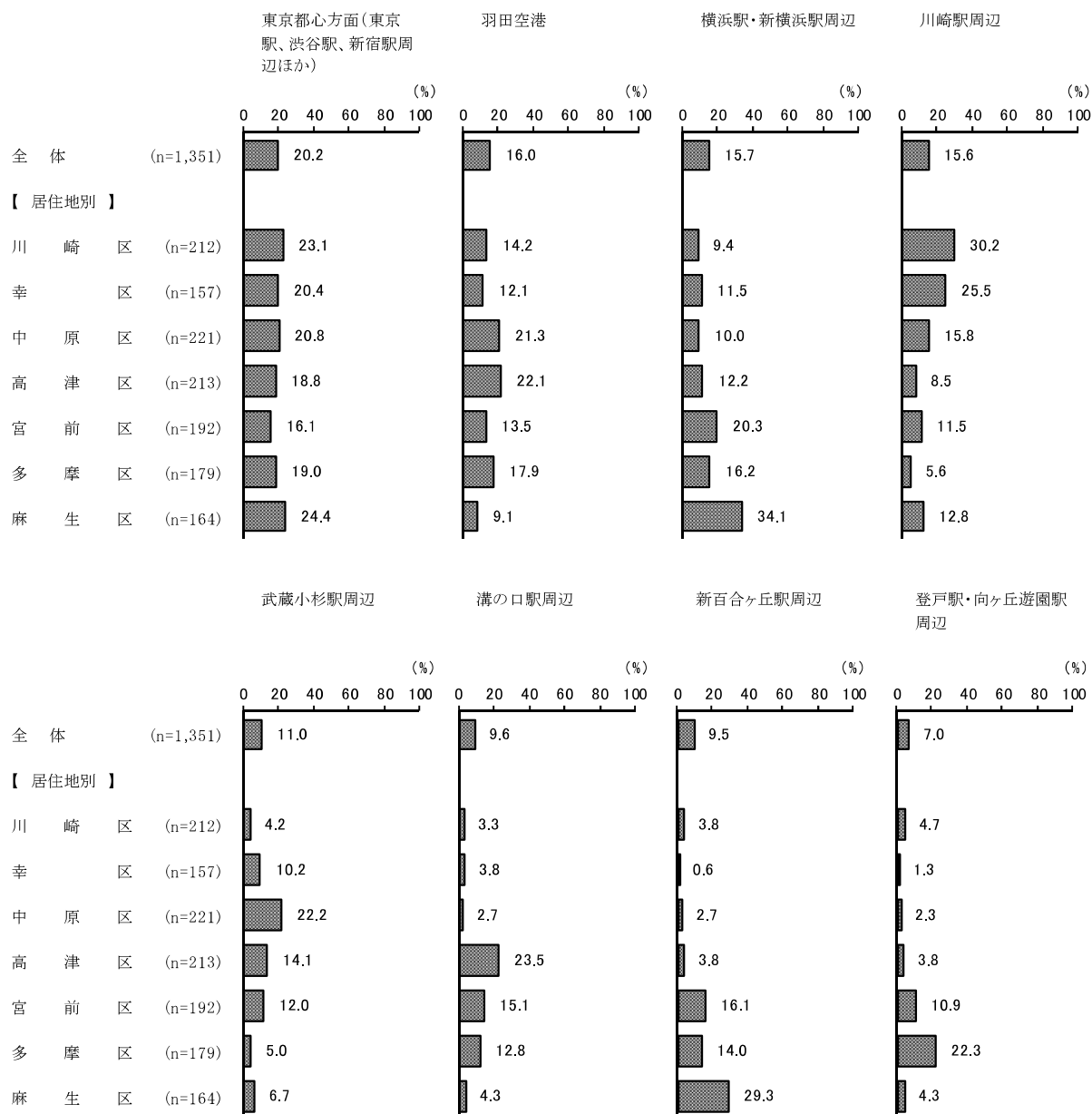
図表6-15 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」は、男性の18～29歳（30.0%）、30～39歳（29.7%）で高く、女性の18～29歳（30.4%）で高い。

(第2回アンケート)

図表6-16 今よりもアクセスが向上すると良いと思う場所（居住区別、上位8項目）



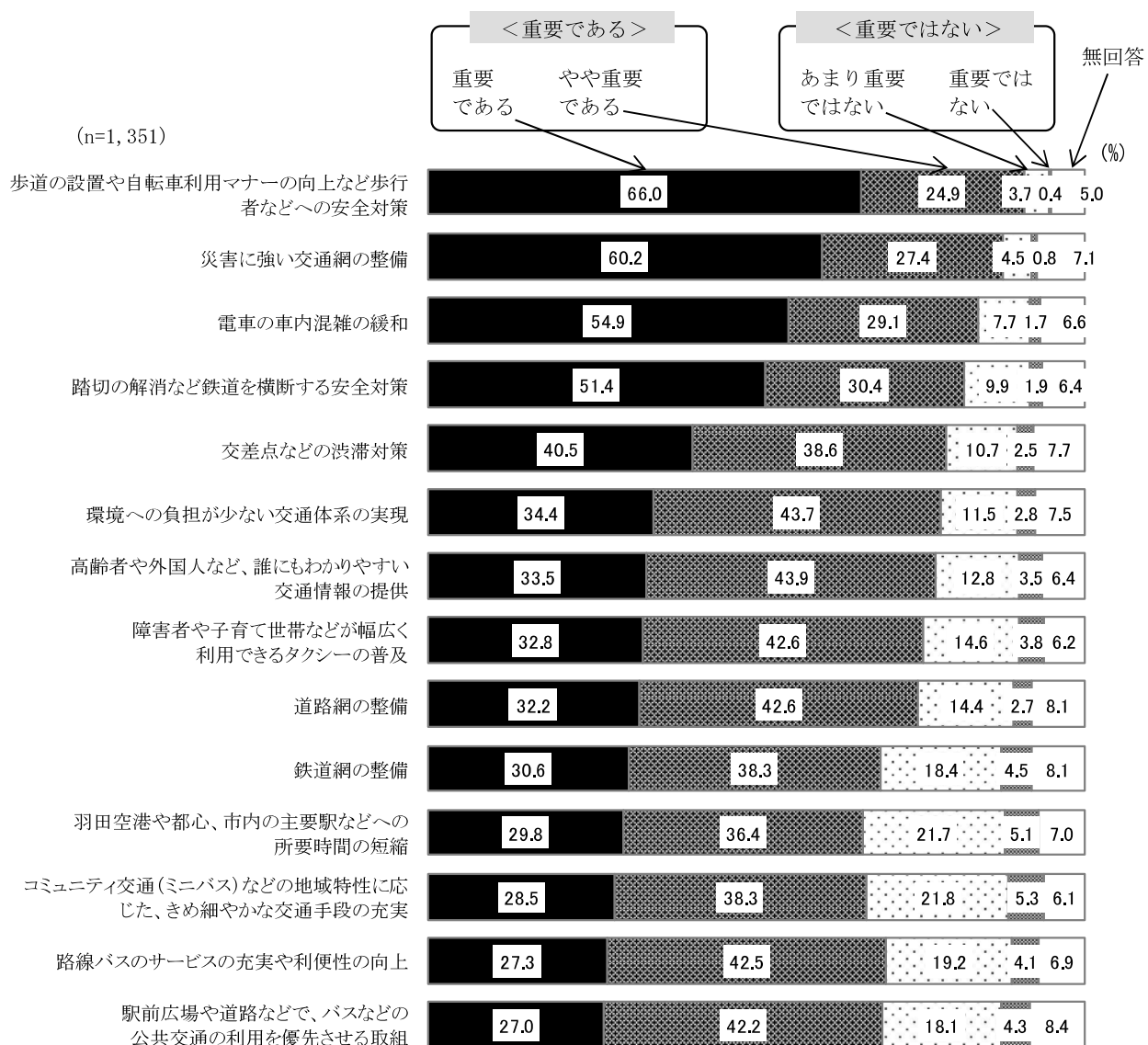
居住区別では、「東京都心方面（東京駅、渋谷駅、新宿駅周辺ほか）」は、麻生区（24.4%）、川崎区（23.1%）で高い。

6-7 市の交通政策について

◎＜重要である＞は、「歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策」が90.9%

問22 あなたは、今後の交通政策において、次の取組について、それぞれの程度重要だと考えますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表6-17 市の交通政策について

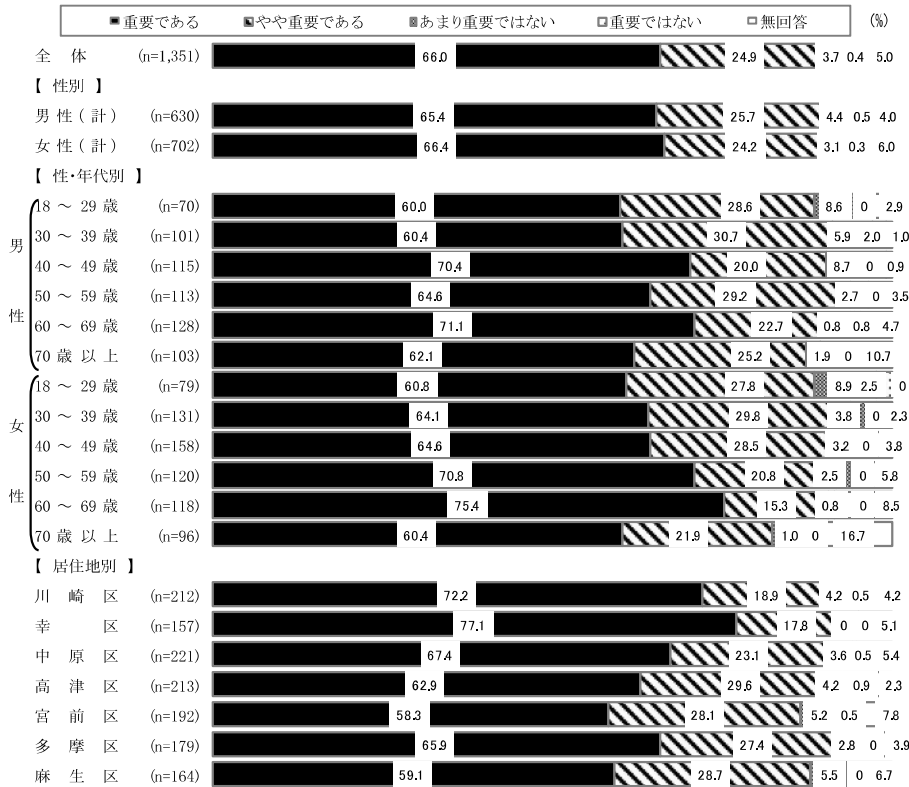


市の交通政策については、「重要である」と「やや重要である」を合わせた＜重要である＞は、「歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策を推進する」(90.9%)が最も多く、次いで「災害に強い交通網の整備」(87.6%)の順となっている。

(第2回アンケート)

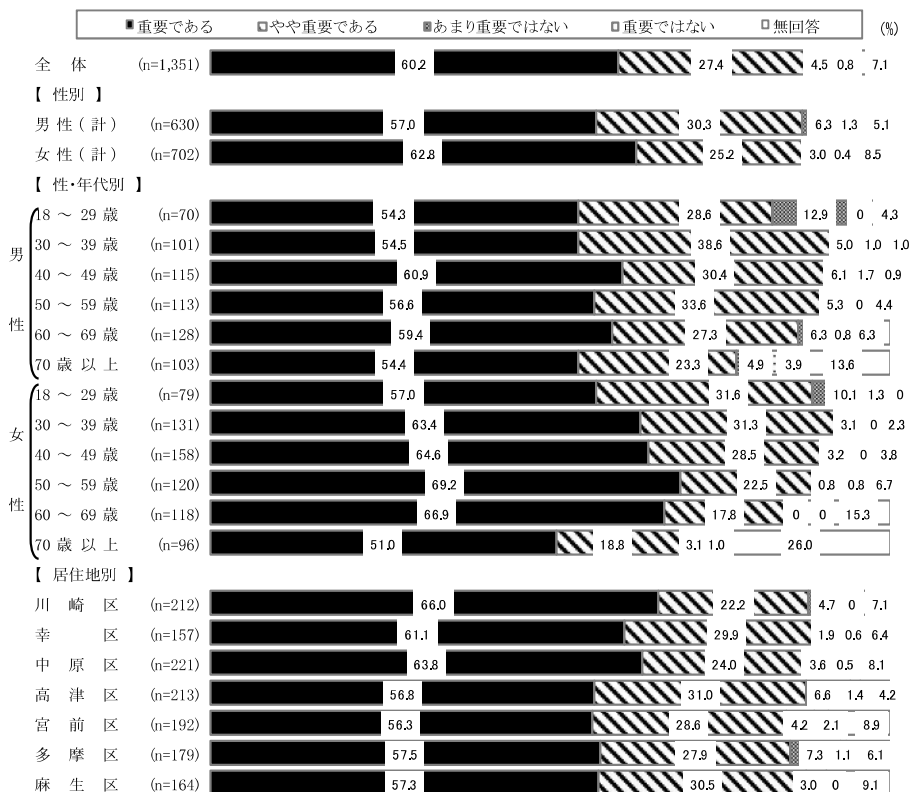
図表6-18 市の交通政策について(性/年齢別・居住区別)

歩道の設置や自転車利用マナーの向上など歩行者などへの安全対策



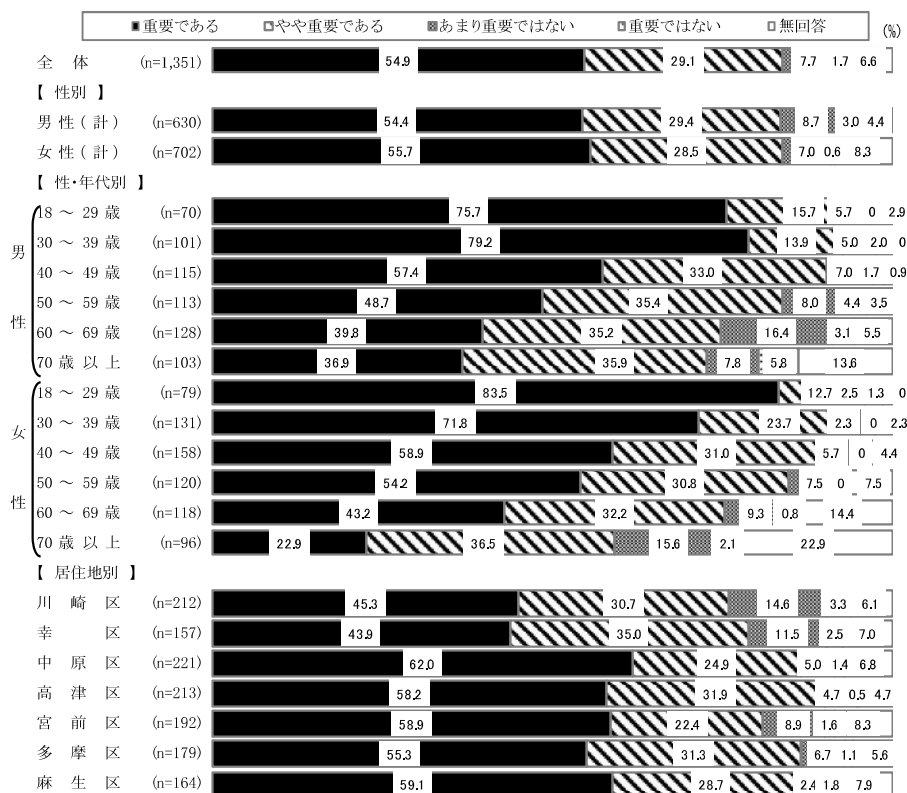
性/年齢別では、女性の60～69歳(75.4%)で「重要である」が高い。
居住区別では、幸区(77.1%)で「重要である」が高い。

災害に強い交通網の整備



性/年齢別では、女性の50～59歳(69.2%)で「重要である」が高い。
居住区別では、川崎区(66.0%)で「重要である」が高い。

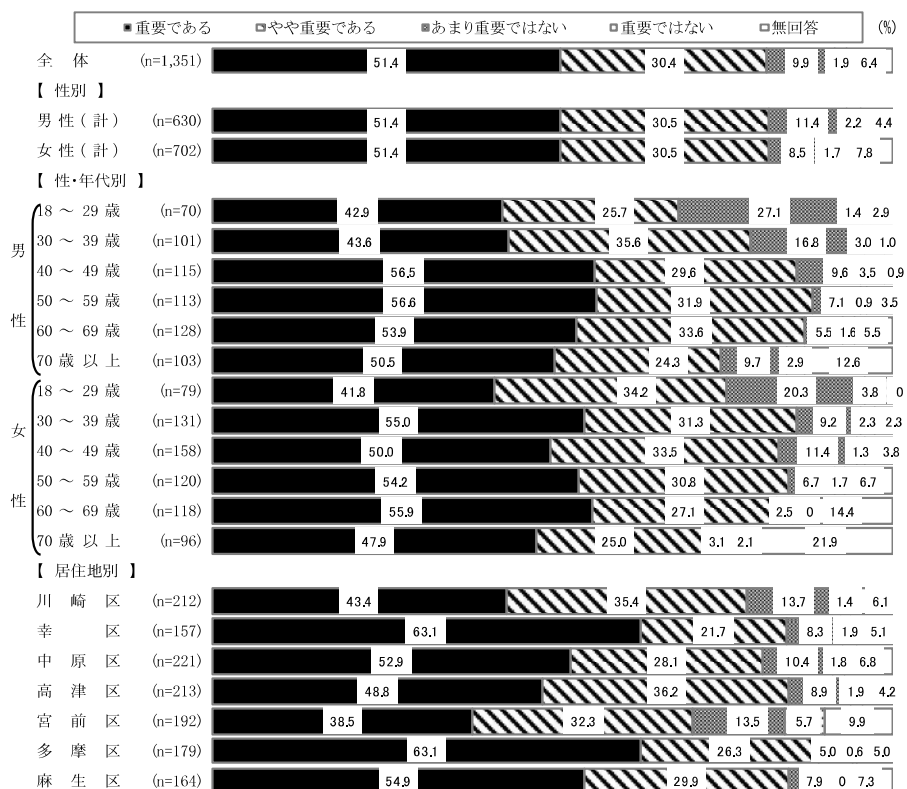
電車の車内混雑の緩和



性／年齢別では、男女共に18～29歳、30～39歳で「重要である」が高い。

居住区別では、中原区(62.0%)で「重要である」が高い。

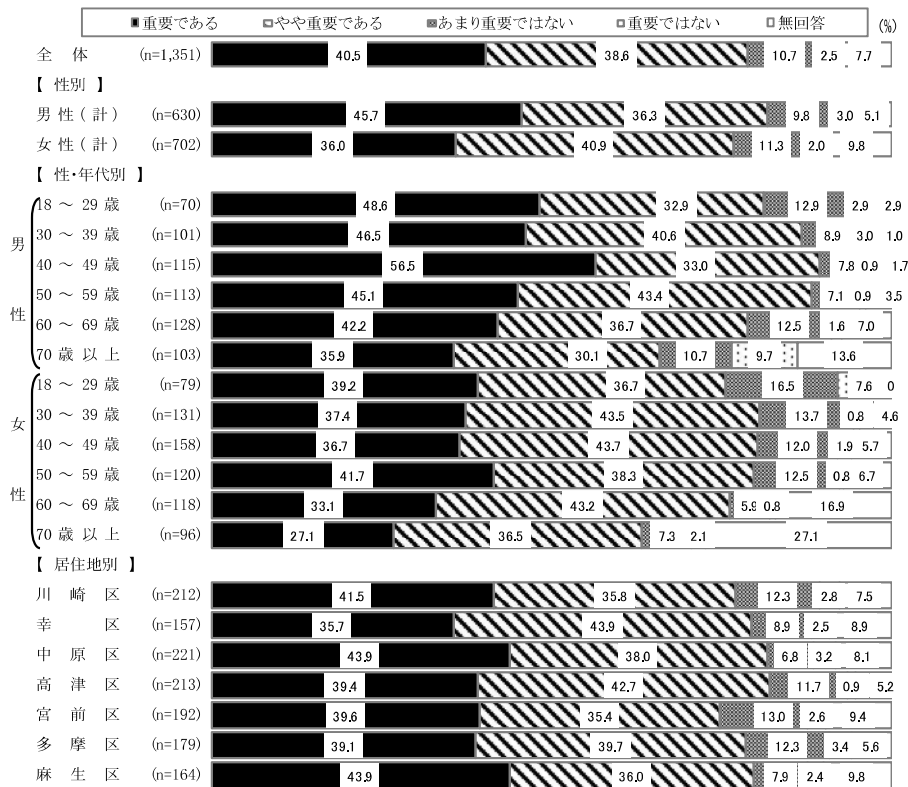
踏切の解消など鉄道を横断する安全対策



性／年齢別では、50～59歳、60～69歳で男女共に、「重要である」が高い。居住区別では、幸区(63.1%)、多摩区(63.1%)で「重要である」が高い。

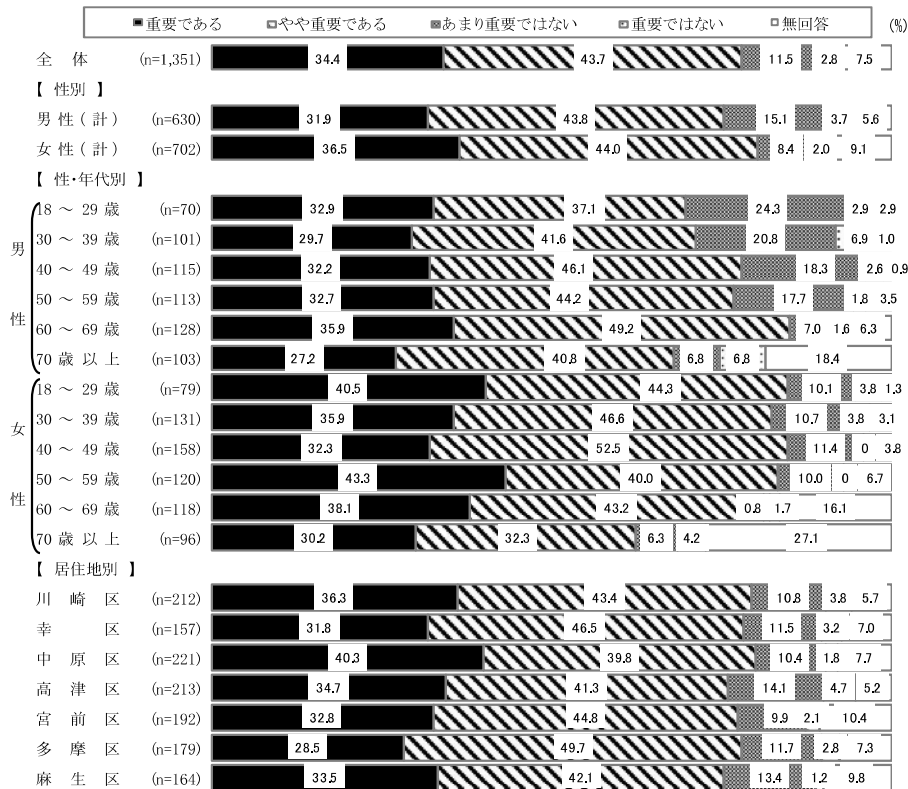
(第2回アンケート)

交差点などの渋滞対策



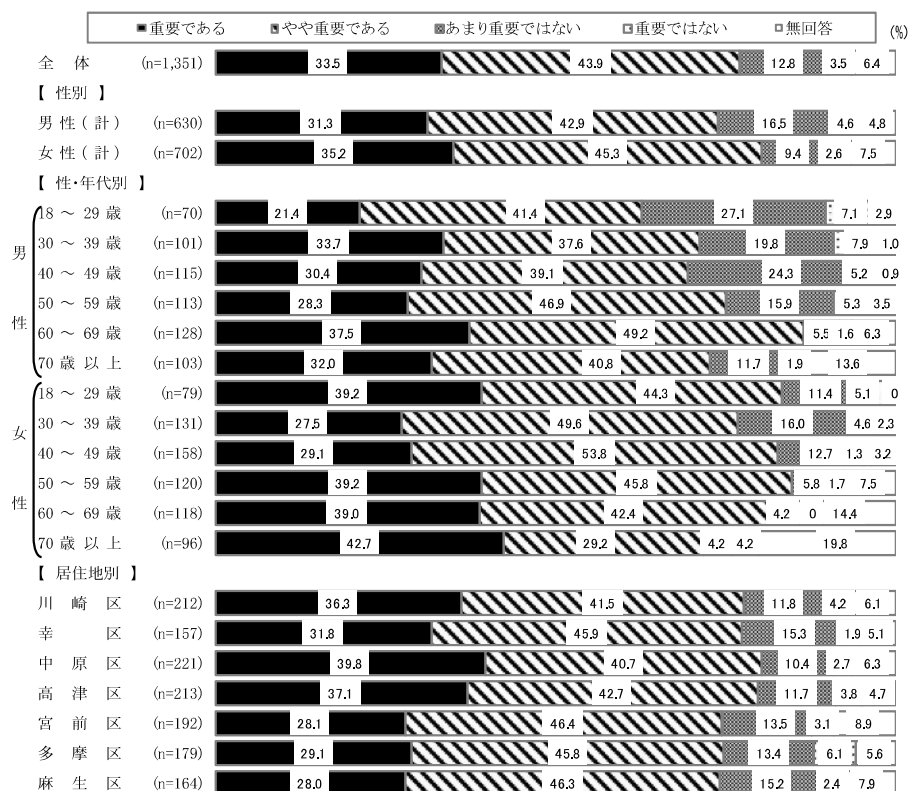
性／年齢別では、男性の40～49歳（56.5%）で「重要である」が高い。
居住区別では、中原区（43.9%）、麻生区（43.9%）で「重要である」が高い。

環境への負担が少ない交通体系の実現



性／年齢別では、女性の50～59歳（43.3%）で「重要である」が高い。
居住区別では、中原区（40.3%）で「重要である」が高い。

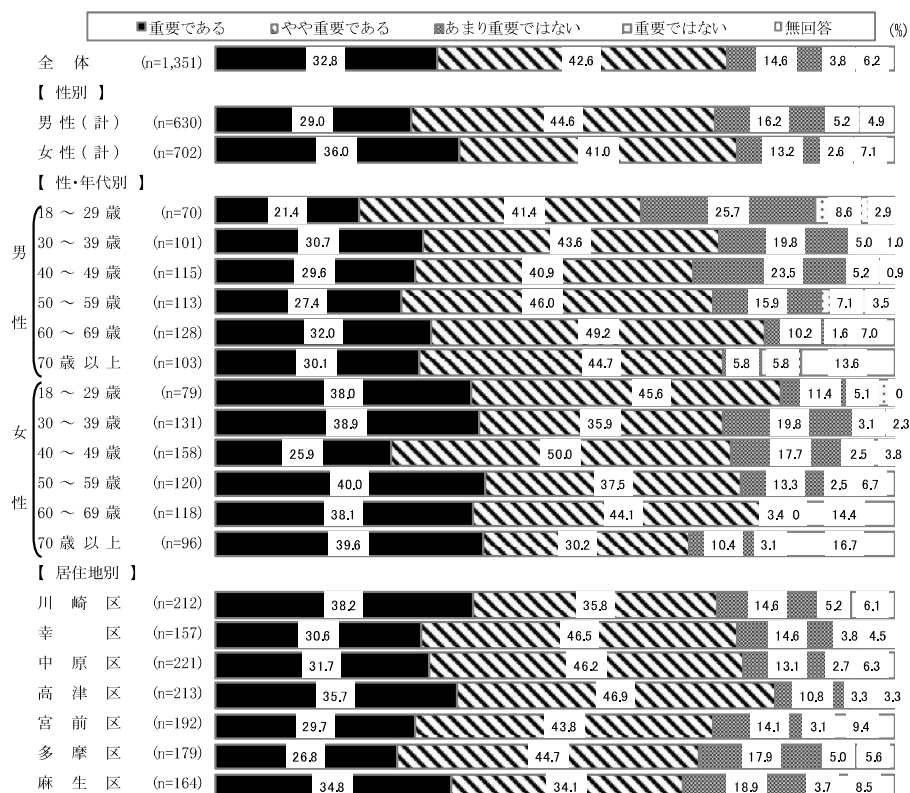
高齢者や外国人など、誰にもわかりやすい交通情報の提供



性／年齢別では、女性の70歳以上(42.7%)で「重要である」が高い。

居住区別では、中原区(39.8%)で「重要である」が高い。

障害者や子育て世帯などが幅広く利用できるタクシーの普及

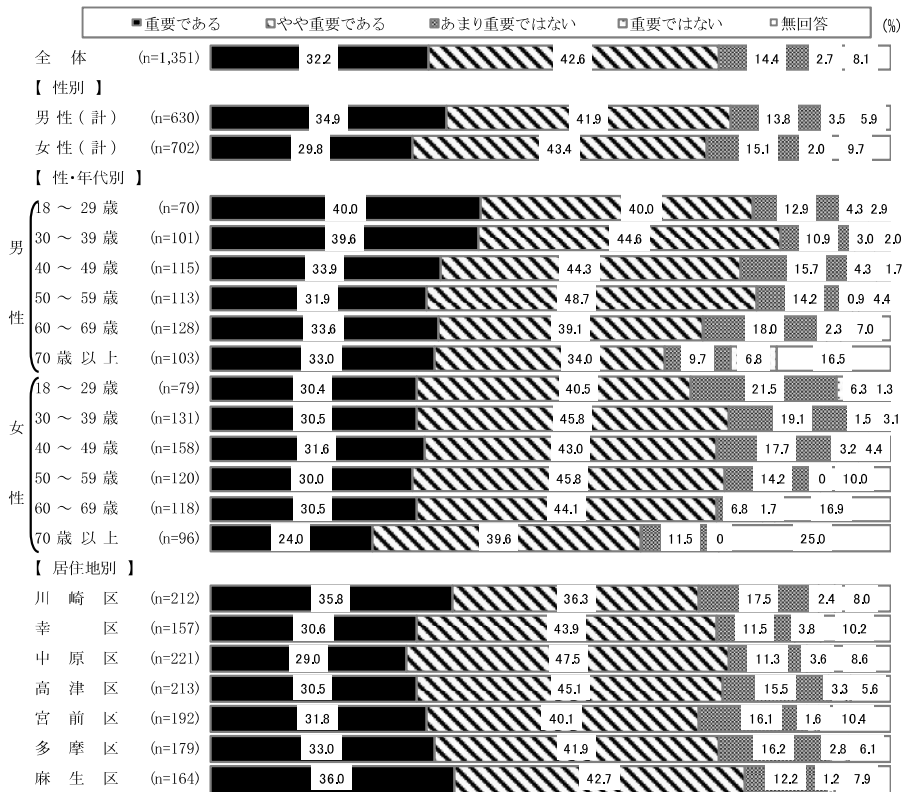


性／年齢別では、女性の50～59歳(40.0%)で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区(38.2%)で「重要である」が高い。

(第2回アンケート)

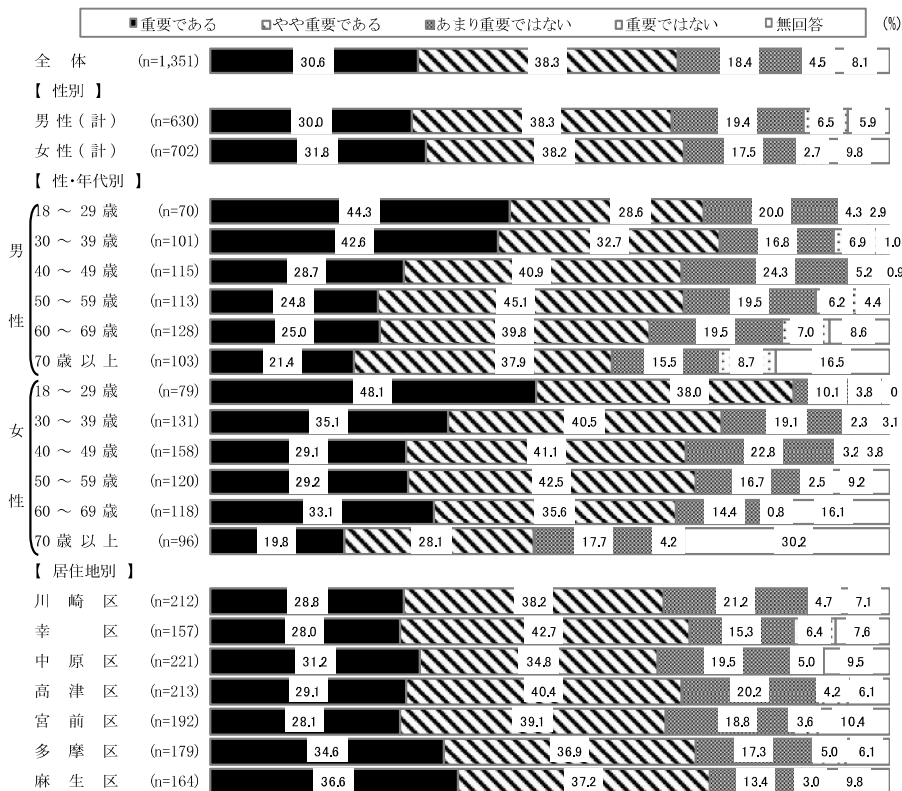
道路網の整備



性／年齢別では、男性の18～29歳(40.0%)、30～39歳(39.6%)で「重要である」が高い。

居住区別では、麻生区(36.0%)、川崎区(35.8%)で「重要である」が高い。

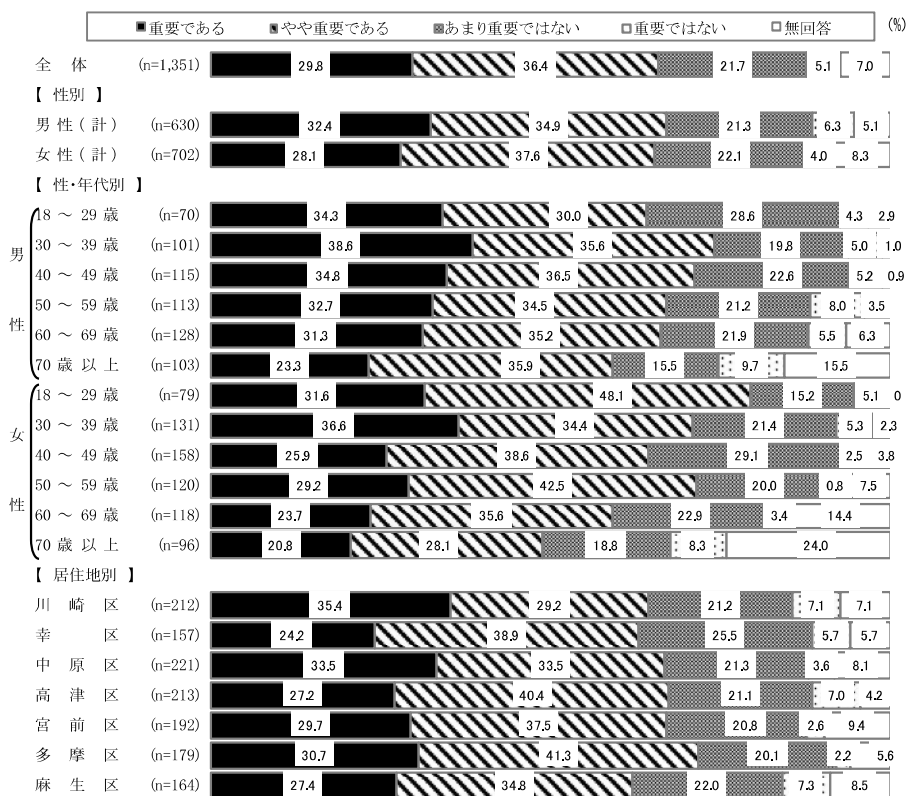
鉄道網の整備



性／年齢別では、男女共に18～29歳で「重要である」が高い。

居住区別では、麻生区(36.6%)で「重要である」が高い。

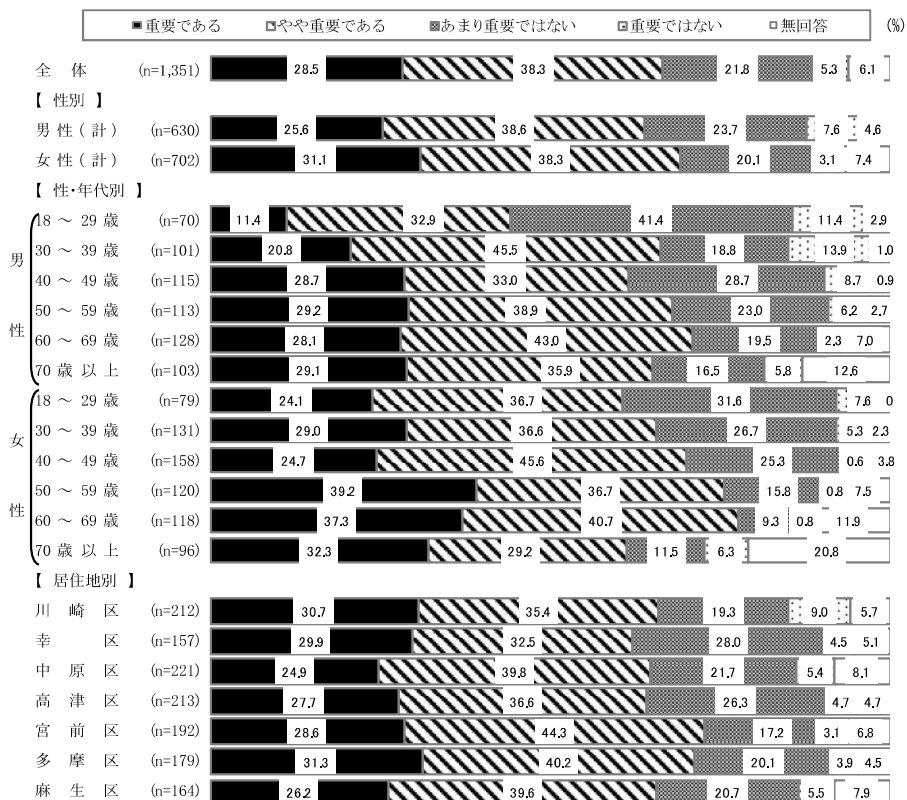
羽田空港や都心、市内の主要駅などへの所要時間の短縮



性／年齢別では、男女共に30～39歳で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区(35.4%)で「重要である」が高い。

コミュニティ交通(ミニバス)などの地域特性に応じた、きめ細やかな交通手段の充実

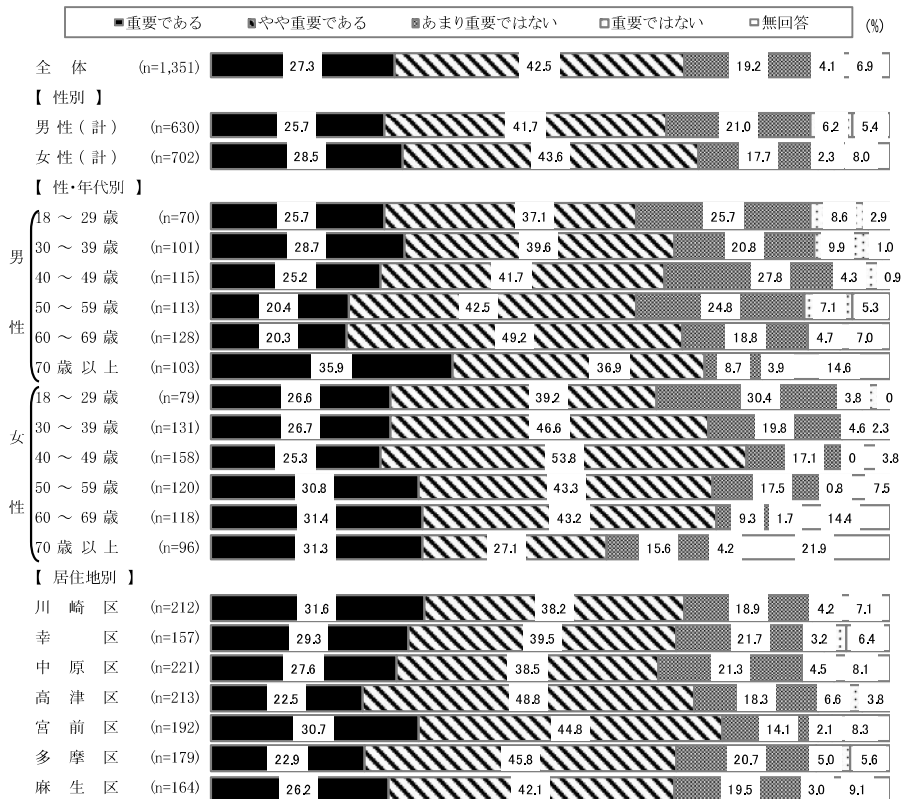


性／年齢別では、女性の50～59歳(39.2%)で「重要である」が高い。

居住区別では、多摩区(31.3%)で「重要である」が高い。

(第2回アンケート)

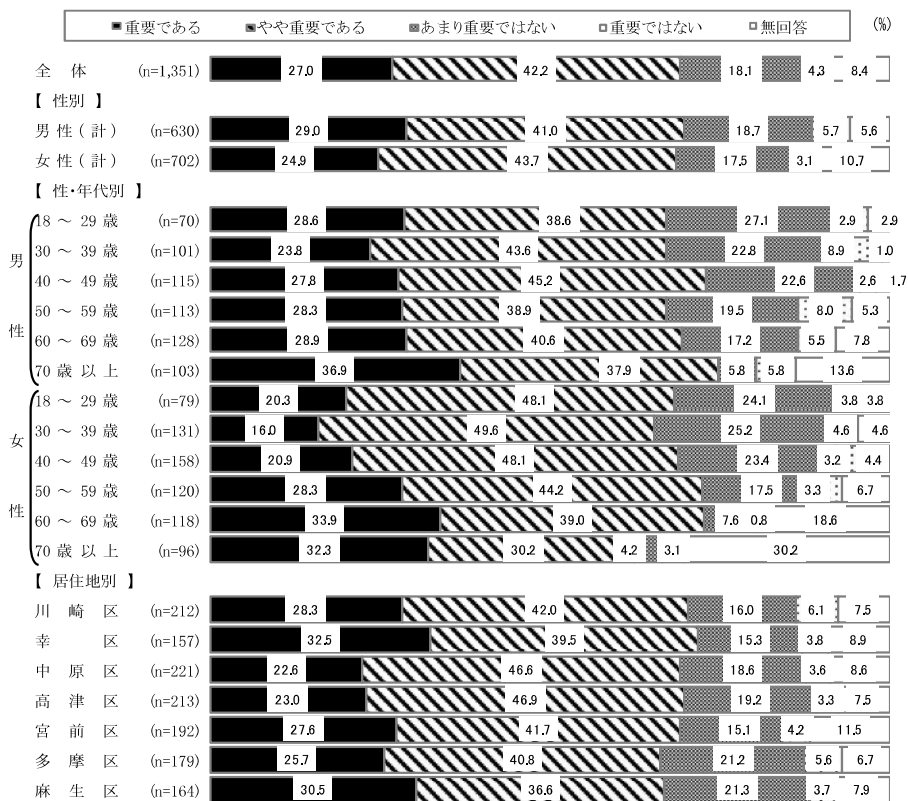
路線バスのサービスの充実や利便性の向上



性／年齢別では、男性の70歳以上(35.9%)で「重要である」が高い。

居住区別では、川崎区(31.6%)で「重要である」が高い。

駅前広場や道路などで、バスなどの公共交通の利用を優先させる取組



性／年齢別では、男性の70歳以上(36.9%)で「重要である」が高い。

居住区別では、幸区(32.5%)で「重要である」が高い。